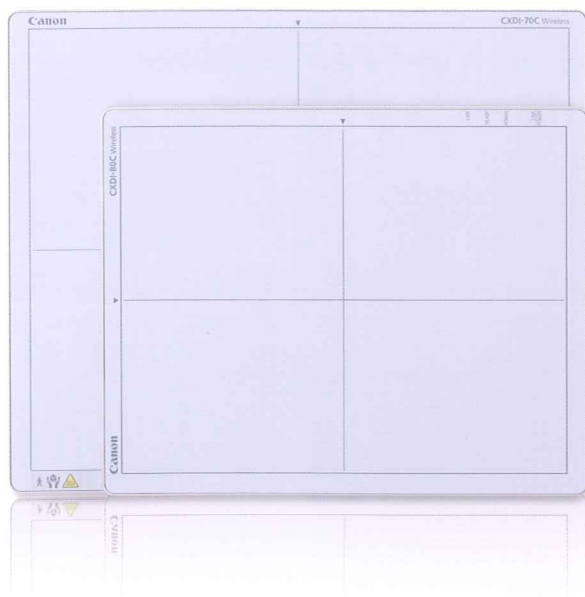


ワイヤレスならではの利点を さまざまな場面で実感できます。



ワイヤレスならではの快適な操作性

ケーブルをなくしたことにより、カセットと同じ操作性を実現。
X線撮影室はもちろん、車椅子や救急への対応時にも、より快適な操作が可能になりました。また、軽量・薄型のワイヤレスながら、従来機種(CXDI-55シリーズ)と同等の強度も確保しています。



高感度、高画質を両立(Cシリーズ)

ピクセルピッチ125μmの新センサーアレイを開発。より高画質な診断画像を提供します。また、蛍光体に光交換効率の高いヨウ化セシウム(CsI)を採用しており、被曝線量の低減も合わせて実現しています。

シンプルな撮影ステップ

CXDIはX線をフラットパネルディテクタ内の蛍光体を介して、デジタルデータに変換します。従来のようにカセットを持ち運ぶ煩わしさがなく、医師からの撮影指示を受けたら、「X線照射→画像確認→画像転送」のシンプルなステップで撮影が完了します。



ワイヤレスでも、撮影後約3秒の高速表示

ワイヤレスとなっても、CXDIならではの高速表示が可能。X線照射後、約3秒で撮影されたX線画像を確認できます。

ワイヤレスの通信方式

複数のチャンネルを結合するチャンネルボンディングにより、高速化・安定化を実現する「IEEE.802.11n(2.4/5.0GHz)」を採用。
センサー本体-制御PC間で、診断画像などの情報をスムーズに通信します。

大容量バッテリーを採用

フル充電で15秒サイクル撮影時において、最大800画像の撮影が可能大容量バッテリーを採用しています。



優れた耐荷重性

CXDIワイヤレスシリーズは、軽量・薄型ながら、均一荷重: 150kg/撮影全域、局所荷重: 100kg/Φ40mmの強度を確保しています。そのため、荷重がかかる撮影においても安心してご使用いただけます。



照射野自動認識機能搭載

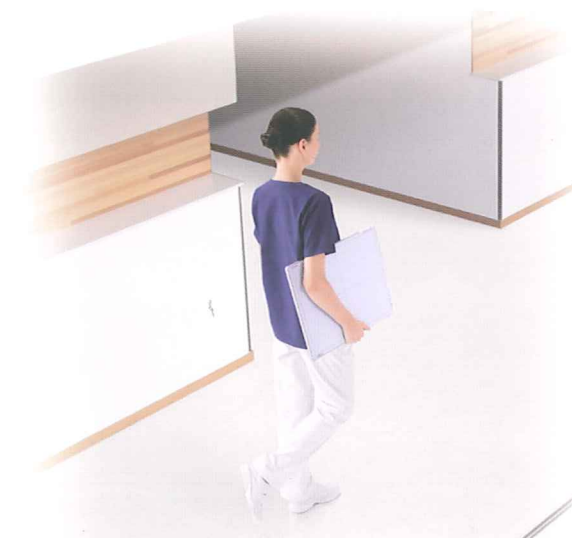
X線が照射された範囲を自動で認識するため、撮影前後に撮影サイズを選択する必要がなく、より簡単に撮影を行うことができます。

環境配慮設計

特定有害物質の使用を制限するRoHS指令に準拠しています。

デジタル回診システム (CXDI-70C Wireless)

ワイヤレスのメリットを最大限に活用できるのが回診車への搭載です。また、病棟等での撮影も容易に行うことが可能です。



回診撮影で画像の即時確認が可能

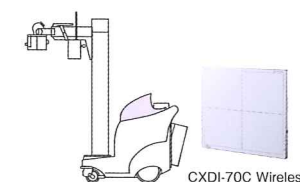
CXDIのコンパクトさを活かしたデジタル回診システムなら、回診車の操作画面で約3秒後に画像が確認でき、万一の撮影ミス発生時にもその場で再撮影ができます。

ヒューマンエラーの発生低減

画像と被検者情報を一元的に管理することにより、カセットと被検者情報をマッチングする手間が省けるうえ、ヒューマンエラーの発生を低減します。

回診撮影の省力化を実現

CXDIならセンサー1枚で複数回の撮影が可能。CR機器と異なり、カセットを撮影ごとに複数枚用意する必要がありません。



ポータブルX線デジタル撮影システム

従来機種(CXDI-50・55シリーズ)で実績がある院外での撮影システムがワイヤレス対応となりました。在宅医療、災害医療等、健診車では対応できない院外の様々な場面でのデジタルX線撮影が行える、より使いやすく、さらに機動力を発揮できるシステムです。



ポータブルX線デジタル撮影システム
*専用収納ケースは、各種ご用意しています。

X線撮影に必要な機器をパッケージ

CXDIなら堅牢なケースに、必要機材をパッケージし、コンパクトにどこへでも持ち運んで、撮影することができます。また、撮影後すぐに画像確認ができ、その機動力を発揮します。コンパクト設計のため、ライトバンでの運搬も可能です。

在宅医療での撮影に対応

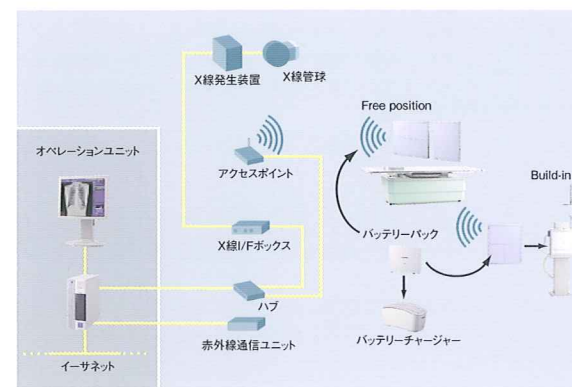
在宅医療の撮影では、動きが不自由な患者さんを対象としているため、一度の撮影ではうまくいかないことが多いものです。その場で画像確認ができるCXDIなら一度の訪問で撮影することが可能です。

災害医療でも機動力を発揮

災害医療における画像確認の重要性が高まっています。急性期医療での迅速かつ確かなトリアージの一助として、即時性そして機動力のあるCXDIが災害時の医療をサポートいたします。

システム構成例

ワイヤレスシステム(標準)構成



ワイヤリングシステム(組込み時専用オプション)構成

